

1. 第2次計画の概要

食育は、健康で心豊かに生きる人を育てるためのものであり、市民一人ひとりが生涯を通じて自らの食のあり方について考え、健全な食生活を実践する力を身に付けられるよう、子どものときから関心と理解を抱くように育てていくことが必要です。このことを踏まえ本市では妊娠期から青年期までの「子どもに重点」を置いた食育を推進します。

食育目標

家族みんなで楽しい食卓 毎日食べよう朝ごはん

- 目標 1 食事のリズムがもてる
- 目標 2 食事を味わって食べる
- 目標 3 一緒に食べたい人がいる
- 目標 4 食事づくりや準備に関わる
- 目標 5 食生活や健康に主体的に関わる

推進テーマ

食が大切と思う気持ちを育てよう

「農業体験」によって日本型食生活と地産地消の大切さや食べ物に対する感謝の気持ちを育み、体験から得た感動と達成感が、さらによりよい食行動につながります。

目標達成のための取組み事業

〈推進事業〉

- ・ 妊娠期の教室と個別栄養指導
- ・ 各種健診と相談の充実
- ・ 保護者に対する教室と栄養指導
- ・ 保育所食育事業
- ・ 小学校食育事業
- ・ 地産地消による給食
- ・ 児童館食育事業
- ・ 高校食育事業

〈重点事業〉

● 農業体験の推進

- ① 夏休み親子食育教室
小学生の親子を対象に、収穫体験と地元食材を使用した試食
- ★② 食育ファーム
小学5,6年生を対象に、農家で宿泊しながら農業体験
- ③ 保育所収穫体験
保育所の園庭や農家での収穫体験と調理
- ④ 小学校収穫・農業体験
学校の授業等において、教科と連携した収穫・農業体験
- ⑤ 大学農業体験
地域ボランティア団体の協力を得ながら授業の一環として、田植えから稲刈り、収穫祭までの農業体験

● 推進体制の整備と強化

- 朝食欠食・孤食率低下のための啓発
- 食に関する指導の充実
- 食育に関する研修会の実施

2. これまでの取組み

滝川市では、食育推進にあたり第2次滝川市食育推進行動計画に基づき、目標達成のため、本市の基幹産業である農業体験から食の大切さを伝えることを推進の重点として、主に次世代の子どもを対象に年間約27の食育事業を5年間実施しました。これらの事業は、毎年滝川市食育推進市民会議において、取組み状況を報告し協議をしてきました。

特に、農業体験を進めるために、市民ボランティアの滝川おもしろ食育塾を立上げ、生産者の協力のもと、宿泊型農業体験の実施や環境と農業を併せた体験の実施など積極的に取組まれたことや市民の地産地消の意識が高まったことは、大きな成果だったと考えています。

3. 指標の評価

第2次計画では、全国と比較して小学生の朝食欠食率が高く、最優先課題に朝食欠食改善を掲げ、その指標を設定し、その達成を目指しながら食育の推進を図ってきました。

達成状況については、小中学生の食育アンケートや事業の取組み状況によって、評価を行いました。

目 標		指 標				
		項 目	H22年結果	H28年結果	目標値	評価
目 標 1	食事のリズム がもてる	朝食の欠食率				
		小学5年生	12.0%	14.4%	0%に近づ ける	△
		中学2年生	20.7%	10.0%		○
目 標 2	食事を味わっ て食べる	嫌いな物がない				
		小学5年生	無	16.0%	0%に近づ ける	△
		中学2年生	27.4%	26.3%		○
目 標 3	一緒に食べた い人がいる	朝食の孤食率				
		小学5年生	20.0%	21.9%	0%に近づ ける	△
		中学2年生	22.0%	32.9%		△
目 標 4	食事づくりや 準備に関わる	料理の手伝い				
		小学5年生	35.3%	36.9%	40%	△
		中学2年生	無	23.2%	40%	△
目 標 5	食生活や健康 に主体的に関 わる	収穫、農業体験				
		保育所	全保育所	全保育所	全保育所	○
		小学校	5校/7校	5校/6校	全校	△
		高 校	1	1	1	○
		大 学	1	1	1	○
		農業体験事業 食育ファームなど	0	1	1	○